

# 理系の女性 活躍の場知って

+C

教育

## 「STEM」分野 中高生に仕事体験

女子中高生にSTEM(科学、技術、工学、数学)分野の仕事を経験してもらう取り組みを愛知県と公益財団法人「山田進太郎D&I財団」(東京都)が進めている。今年度の全国学力調査で、成績には男女差がほばないのに、算数・数学や理科を「好き」「得意」と答えた女子は、男子より少なかった。この分野の仕事の魅力を知ってもらい、女子生徒たちに将来の選択肢を増やしてほしいと財団の担当者らは願っている。

8月上旬、愛知県高浜市の「おとうふ工房いしかわ」に県内外から15人の女子中高生が集まった。出迎えるのは、商品の開発や営業に携わる女性社員らだ。

生徒たちは、にがりとすまし粉を使った2種類の豆腐作りに挑戦。凝固剤が変わることで、固まり方や味にどんな違いが出るか体験した。

神奈川県から参加した高校2年生の関谷瞳子さん(16)は、学校の文理選

択ですでに文系を選んで

いるがツアーを通して「化学も学びたいと思った」。

厚生労働省の2024年度の調査では、課長相当職以上の管理職に占める女性の割合は13・1%。おとうふ工房いしか

## 「女性＝文系」残る固定観念

小学6年生と中学3年生が受ける全国学力調査の今年の結果では、平均正答率では男女差がほとんどないのに、算数・数学が「好き」「得意」と答えた女子は小中ともに男子より20%程度少なかった。理科が「好き」「得意」と答えた女子も、中3は男子より15%程度少なかった。

財団理事の石倉秀明さんは「女性のほうが実際の学力より主観的な評価が低くなる傾向があると多くの研究で明らかにな

るタブレット画面の仕事やプログラミングで変えたり、キャッシャー機の構造や仕組みを学んだり。同行は、組織内の全グループに女性を2人以上配置するという独自の目標を掲げており、この日も女性社員らが仕事を案内した。

「銀行は文系の仕事だ」と思われがちだが、理系が活躍できる仕事もあると知ってほしい」と同行の担当者は話す。

「銀行は文系の仕事だ」と思われがちだが、理系が活躍できる仕事もあると知ってほしい」と同行の担当者は話す。

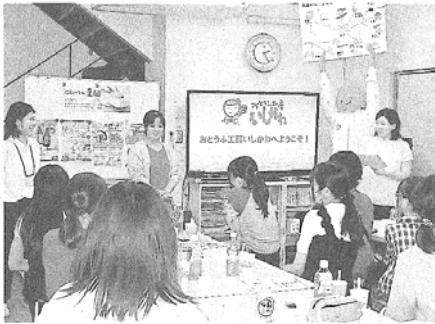
「銀行は文系の仕事だ」と思われがちだが、理系が活躍できる仕事もあると知ってほしい」と同行の担当者は話す。

「銀行は文系の仕事だ」と思われがちだが、理系が活躍できる仕事もあると知ってほしい」と同行の担当者は話す。

り組みの狙いだ。「知らなければ選択肢に入らない。色んな仕事を知っている人があると、まずは知ってもらえたら」

STEM分野に女性が少ない現状を「課題だ」と声高に言うことにも、慎重になったほうがいいと石倉さんは考える。少数派であることは時に困難を伴うため、そうした発信は、女性のSTEM分野への進学・就職を躊躇させてしまう恐れがあるという。女性の少なさより、なぜ女性が少ないのかという問題の根っこにアプローチすることが大切だと、石倉さんは指摘する。

保護者や教師ら、周囲の大人ができることは何か。石倉さんは「その子がやりたいことを全力で応援することに尽きる」と話す。「そのためには、まずは大人も自分がやりたいことをやったらいいんです」。一人ひとりが、自分が本当に好きなことを追求することが、社会的なイメージや思い込みを変える第一歩になるという。(川西めぐみ)



「おとうふ工房いしかわ」で開かれたツアー。参加者は女性社員に学生時代や仕事内容について質問した＝高浜市豊田町



名古屋銀行のツアー。ATM機を実際に触ってみて仕組みを学んだ＝名古屋市中区